

産業廃棄物処理・リサイクル事業会社様

産業廃棄物処理・リサイクルを行っておられる御社では、環境への影響やさまざまな規制を考慮すると、次のような検査・分析などのニーズがあると考えられます。

主な検査・分析ニーズ	
処理施設	排水水質検査、環境測定、産業廃棄物の有害物質溶出試験（廃棄物処理法）、ダイオキシン、焼却炉排ガス測定、環境アセスメント など
受入・処理	産業廃棄物受入にかかわる有害物質などの検査、処理物（燃え殻、煤塵、汚泥、スラグなど）の分析、残土受入に伴う土壌分析、アスベスト、PCB（トランスなど） など
リサイクル	RPF（熱量測定、含水、有害物質分析、JIS規格準拠）、堆肥・肥料分析、再生プラスチック物性試験、バイオディーゼル（BDF）のJIS規格準拠 など

検査・分析費用の見直しを検討されませんか？

検査・分析に年間どの位の費用がかかっていますか？

検査・分析費用は都度の支出が多く、また1回の支出が高額でないため、コスト削減の対象になりにくい性質があります。

また、「検査・分析」という業務の特性から、価格比較や価格交渉を積極的に行っている例は多くありません。

産業廃棄物処理やリサイクルの分野では処理施設における環境への影響についての検査のみならず、受入やリサイクルでもさまざまな検査が行われています。

残土の土質分析は一般に検体数が多くなりますので、1検体あたりの検査費用の低減が重要になります。

勿論、検査会社を変更する場合、検査の信頼性や納期は従来と同等あるいはそれ以上でなければなりません。

もし、検査・分析費用を15%～40%削減できたら！

ほんの一例です。

項目		弊社ご提案	現在の ご利用金額	差額	削減率	
産業廃棄物	有害物質	産業廃棄物溶出試験24項目	¥52,000	¥70,000	-¥18,000	-26%
	ダイオキシン類	ダイオキシン類(法定法)	¥60,000	¥80,000	-¥20,000	-25%
土壌分析	残土分析	溶出試験26項目+含有試験9項目	¥75,000	¥100,000	-¥25,000	-25%
水質検査	水質汚濁防止法	有害物質28項目	¥60,000	¥75,000	-¥15,000	-20%
		有害物質28項目+生活環境15項目	¥78,000	¥95,000	-¥17,000	-18%
環境測定	排ガス測定	焼却炉排ガス測定(DNXを含む)	¥160,000	¥220,000	-¥60,000	-27%
	騒音・振動測定	騒音・振動(敷地境界線4箇所)	¥50,000～	¥70,000～	-¥20,000	-29%

なお、価格は地域、実施検査会社によって異なります。